



Daito Chuo Osaka Japan

第2660地区 大東中央ロータリークラブ

*事務所

〒574-0046

大東市赤井1-2-10-4F

TEL : 072-872-6349

FAX : 072-872-6552

E-mail : dc-rc@eagle.ocn.ne.jp

ホームページ http://www.dcrc31477.com/



*例会

毎週水曜日 12:30~13:30

ホテル阪奈

〒574-0012 大東市龍間266-8

TEL : 072-869-0181

FAX : 072-869-0105



SERVE TO CHANGE LIVES

■会長:森原正樹 ■幹事:住川奈美 ■会報委員長:糸川千恵子

RI会長 シェカール・メータ

2021~2022年度

国際ロータリー・テーマ

奉仕しようみんなの人生を豊かにするために

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

第 1091 回 例会 令和 4 年 4 月 20 日

開 会 点 鐘 : 12:30

ロータリーソング : 「我等の生業」

来 客 紹 介 : 親睦活動委員長

会 長 の 時 間 : 会 長

諸 報 告 : 幹事、各委員長、出席報告、ニコニコ箱

卓 話 : 「わが人生悔いなし」 清水 順市 会員

閉 会 点 鐘 : 13:30

次回(5月11日)のお知らせ

森本ガバナー補佐・塩谷ガバナー補佐エレクト訪問

4 月 13 日の例会の記録

出 席 報 告

会 員 数	:	26	名
出 席 者 数	:	14	名
欠 席 者 数	:	10	名
出席規定免除者数	:	2	名
出 席 率	:	58.33	%
12月1日 修正出席率	:	65.21	%
		↓	
		65.21	%

お 知 ら せ

・4/27(水)	休会日
・5/3(火祝)~5(木祝)	春のライラセミナー (ホト大阪西RC)
大阪府立青少年海洋センター 集合5/3、9時 解散5/5、15時半	
・5/4(水)	休会日
・5/11(水)	森本ガバナー補佐・塩谷ガバナー補佐E訪問
・5/18(水)	卓 話 : 大 川 会 員
・5/25(水)	卓 話 : 青少年奉仕月間に因んで



二〇二〇箱

- ・ 前回お誕生日お祝いをありがとうございました。 寺田会員
- ・ 今日石巻南RC30周年式典祝賀会に参加して。 西垣会員
- ・ 寺田会員の卓話、西垣会員の委員会報告楽しみにしています。 川西会員
- ・ 西垣会員、岩本会員、石巻南RC30周年ご出席ありがとうございました。お話楽しみにしています。糸川さんみたらし団子ごちそうさまです。 住川様
- ・ 寺田様卓話楽しみにしています。糸川さんみたらし団子ありがとう。 岩本会員
- ・ 寺田会員！！卓話楽しみです！！ 白川会員
- ・ 4月3日(日)飯盛城跡国史跡指定記念事業実行委員会、無事終える事が出来ました。皆様に感謝します。 糸川会員
- ・ 小笠原オーシャンクルーズに孫たちと行って来ました。 田中会員
- ・ ウクライナ、ロシアの戦争が早く終結する事を願って。 清水会員
- ・ 前回分と合わせて、これからも例会が続けられますように。 庵谷会員
- ・ 例会が開催される様になって、皆さんと逢えてうれしいです。 大和田会員
- ・ 皆様のご配慮に感謝して。 大川会員
- ・ 早退のお詫び。 北田会員

当 日 計 ￥41,000

今期累計額 ￥266,000

《 会長の時間 》



直前会長 庵谷 和宏

皆様 直前会長の立場で会長の時間を担当させていただきます。

本日4月13日も先週に引き続き、無事に例会を開催出来る事となりました。本年度の例会の開催回数を調べてみました所、当初33回となっていました。しかし、本日は第8回目の開催となり、残りの日程を全て開催出来たとしても15回となります。半分以上が休会になった事になります。

この残りの期間で、今まで延び延びになってきた委員会での会合なども開催しながら、本年度の各奉仕委員会の皆様からは本年度を省みての発表を頂く事と、新年度の奉仕委員会の皆様からは、新しい委員の選任と活動計画を頂く事になっております。

日数も限られた中ではありますが、本年度の締めくくりと新年度に向けてのご準備をよろしくお願い申し上げます。



話は変わりますが、世間では新型コロナウイルス感染症が収束したとの言えませんが事実として全国的に緊急事態宣言もまん延防止等重点措置法も解除されました。合わせて、季節も春を迎えて今まで我慢していたお出かけや旅行などの回数が増える事と思います。

そこで、近場でなじみのある行事の開催状況を調べてみました。

一つ目は造幣局の桜の通り抜けです。

今年は、本日13日より19日までの予定で無事に開催されております。

ただし、入場するには事前にインターネットでの予約が必要です。との事。続いて、私の今の地元の野崎まつりです。

期間は5月1日から8日までです。

現時点では、屋台も出店される方向で開催される予定です。

次は、祇園祭りです。

期間は、7月1日から7月31日までです。

テレビなどの報道でも取り扱われていますが、最新情報では、神事などの一部は無観客になるかもしれませんが、開催される予定です。私の実家の地元の天神祭りです。

期間は7月24日・25日ですが、現状では情報がありません。

なにわ淀川花火大会

今年は8月7日（土） 19：40 ～ 20：40 に開催される予定との事。打ち上げられる花火は、未公開ですが約20,000発との事です。

以上、私目線で屋外の行事予定を並べて見ました。

お出かけの際のご参考になれば幸いです。

それでは、本日の会長の時間を終わらせて頂きます。



お誕生日おめでとうございます。



〔委員会報告〕

次年度理事会の報告について

大川次年度幹事

2022～2023年度大東中央ロータリークラブ
第2回次年度理事会 議事録

2022年 4月 6日(水) 例会後 ホテル阪奈 例会場にて

1、次年度会長挨拶

2、出席者確認： 出席者 白川初美・北田宗男・住川奈美・岡野慎司・荒金正之
大東雅代・庵谷和宏・大川卓也
欠席者 森原正樹・青田朝代・清水順市・田中正美

3、協議事項

①会長方針について

配布しました

②委員会構成について

活動計画案作成のお願いについて

(5/18までに事務局に提出下さい。委員会を適時に開いて下さい。)

*5/18迄に各委員会を適時開き、活動計画を作成の上、事務局に提出する事になった。

③4月9日(土)12:30～17:00国際会議場 地区研修協議会について

皆さんオンライン出席 忘れずに必ず出席して下さい。

*全員オンライン出席予定

④ガバナー公式訪問・補佐訪問について

2022年11月2日(水)ガバナー公式訪問

2022年10月19日(水)第1回ガバナー補佐訪問

2023年4月12日(水)合同例会(ホスト大東中央RC)に第2回ガバナー補佐訪問予定

⑤4月13日例会後 新旧クラブ協議会について

議長は森原会長ですが不在の為。開催をどのように進めたらいいのか、
皆の意見をお聞かせください。

*活動計画書が5/18締切日出された上で新旧クラブ協議会を開く事となった。

⑥その他

①地区補助金申請について

地区補助金を使って子どもバギーを贈る事業の準備を青少年奉仕委員会大東委員長が
進めて来たこともあり、社会奉仕委員会庵谷委員長と相談し、理事会で協議した結果、
引続き青少年奉仕委員会で進めて頂く事となりました。

②慶弔規定の一部見直しを今後して行く

4、閉会



2022-2023 大東中央ロータリークラブ 次年度理事会 議事録

議 題	令和 4 年度 第 3 回 次年度理事会 議事録
日 時	2022/4/13 例会前 11:30~
場 所	ホテル阪奈 4F 例会場
出席者	白川・清水・北田・住川・岡野・庵谷・田中・大川
欠席者	森原・青田・荒金・大東

役員	議案	承認・その他
白川会長	・コロナ禍で例会開催中止が続き会員間の交流、親睦ができずにいたので、今年度はコロナ感染予防を徹底し創意工夫しながら親睦を深める機会をつくり、楽しく活動をしていきたい。また会員増強につながる取り組みを全会員と協力しながらすすめていきたいのでよろしくお願いします。	
青田会長エレクト		欠席
清水副会長	・出欠確認の徹底のお願い 毎回、欠席者の食事が残ってしまい無駄になってしまっているの、出欠確認の徹底をお願いします。	体調不良、コロナ濃厚接触者等の理由以外の欠席については毎週月曜日 12 時まで事務局に連絡を下さい。また例会受付に出欠ボードを設置していますので、欠席される方食事が不要な方は必ず記入していただきますようお願いします。
大川幹事	・委員会構成最終確認済	最終確認済みしました。
北田会計	・各委員会予算について	各委員会の活動計画が決まり次第予算を決めていきます。
住川 SAA	・アクリル板の設置と消毒の徹底	見積をとる。
森原直前会長		欠席

理事	議案	承認・その他
職業奉仕 (岡野委員長)		
社会奉仕 (庵谷委員長)		
国際奉仕 (荒金委員長)		欠席
青少年奉仕 (大東委員長)		欠席
親睦活動 (田中委員長)		
その他	・タクシー利用について	タクシー利用の費用は無くなります。会員間で声を掛け合いながら同乗していただくか、阪奈ホテルのバスを利用して頂きますよう、よろしくお願いします。



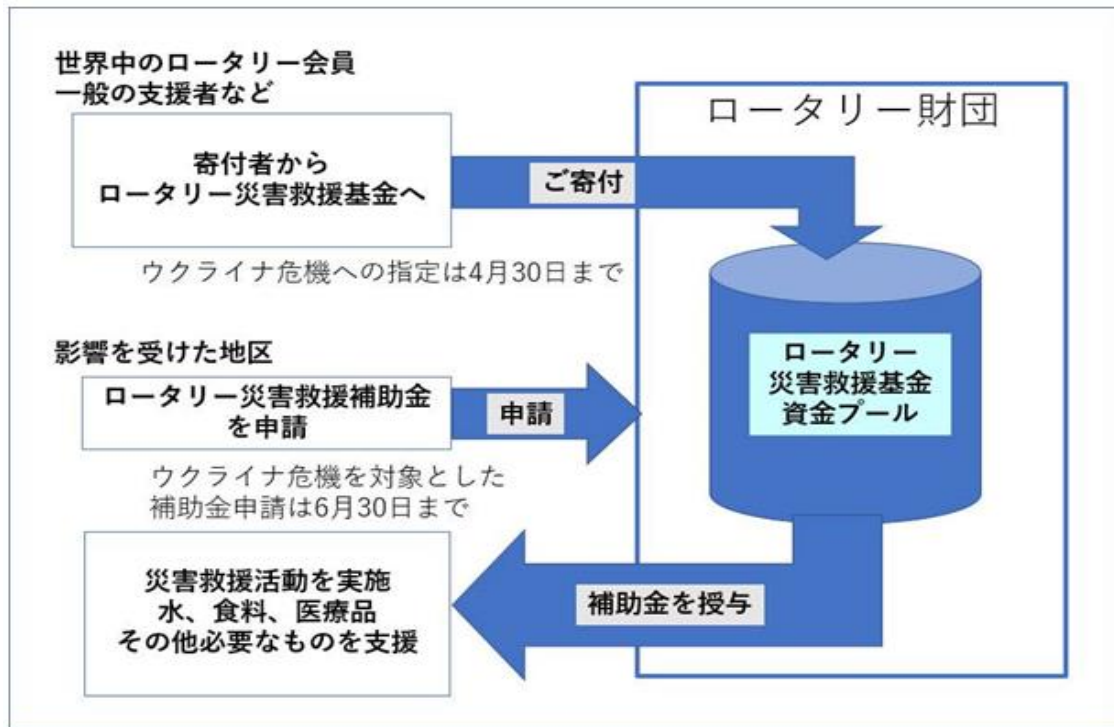
〔委員会報告〕

＊ウクライナ災害支援金について 国際奉仕委員長 北田 宗男
先般ご質問頂きましたウクライナ災害支援金について 地区に問合せした所下記の返答となりました。ご一読頂きますようお願い致します。

ウクライナ支援の災害救援基金へのご寄付は、ロータリー災害救援補助金を通じてウクライナをはじめ影響を受けた地区やクラブの支援に回ります。

- ・皆様からご寄付がロータリー財団に送られると、ひとまずロータリーの災害救援基金にプールされます。
- ・ウクライナをはじめ影響を受けた地区が、ロータリー財団にロータリー災害救援補助金の申請をします。
- ・補助金が承認されると、ロータリー災害救援基金から、申請した各地区に補助金資金が授与されます。

下記図は、公式な資料ではないのですが、ご参考ください。



＊石巻南RC30周年記念式典・祝賀会報告 西垣 文雄 会員
この度4月9～10日石巻南ロータリークラブ30周年記念式典・祝賀会に岩本会員と共に参りました。石巻グランドホテルにてRI2520地区ガバナー鈴木俊一氏はじめ石巻市長、東松山市長、女川町長等行政関係者、友好クラブとして岐阜長良川RC、善通寺RC、足利RC、石巻東RC(スポーツクラブ)他地元RC、それに海外の友好RCフィリピン東ダバオRC、タイのサムサコーンRC(この2クラブはオンライン参加)など多数の参加による立派な式典・祝賀会でした。



また、記念事業としては桜の植樹、制作映画への協賛、耕人塾（地域社会に貢献する人材育成）、日本各地からの支援一覧の案内が報告されています。

この支援の中に当クラブの支援も記載されております。10年前のことになりますが当時を振り返り今後の奉仕活動の参考にしていただければと思います。

2011年12月、東日本大震災支援委員会が設置され、メンバーは大和田、糸川、前田、峠、川西、古川、西垣で構成されました。

支援方針として、①3月11日（震災記念日）に大阪産大との共催による記念コンサート、②被災地女川地区の青少年を対象とし石巻南RCとタイアップして実施することとし、窓口は西垣が担当することが決まりました。

①の記念コンサートはサーティホールに1200名を超す来場をえて盛大におこなわれRCの大切な目的の一つである公共イメージの向上に大いに貢献したと思います。

②については先方の及川氏のご協力の下、

- ・図書710冊、図書管理用パソコン、RC蔵書印寄贈
- ・女川保育園に寝具用収納台2台、給食用ガステーブル寄贈
- ・大東中央RC支援基金100万円の設立
- ・翌年度に女川小学校にICT機器等支援
- ・5年にわたり市民祭りにて蒲鉾の販売

その他地区要請による大船渡中赤崎小網の漁民センターにも15万円

守口イブニングRCにも協賛をしておおよそ450万の支援をおこなっています。

義援金については会員の皆様はじめ台中南門RCより200万円の寄贈、地区災害支援金と地区補助金約100万円（地区補助金）によるものです。

この度の支援で特筆すべきは当クラブが設立し基金です。この使用は石巻南RCにお任せし行政がすぐに対応できなかったり手の届かない些細なニーズ、防災頭巾、絵本、運動クラブの救急セット、クーラーボックス、砂袋、卓球のボール、障害児童育成会の運営資金などクラブの判断で自由に使える基金は大変喜ばれたようです。この資金を利用した団体、個人から喜びの感謝状を頂いています。例えばこの資金で運動靴を買い箱根駅伝を走ったと礼状が届いています。これらの奉仕活動は石巻南RCの及川氏はじめ皆さんが自分の被災を顧みず地元のニーズに対応され本当にロータリーらしい奉仕活動と敬意を表するところです。

ここで少し財団資金についてお話しておきます。皆様にご寄付頂いている財団資金は地域活動に使える地区補助金と国際奉仕活動に使えるグローバル補助金があります、日本国は本来対象外なのですが東日本大震災は災害の大きさに対しG. G. の対象となりました。

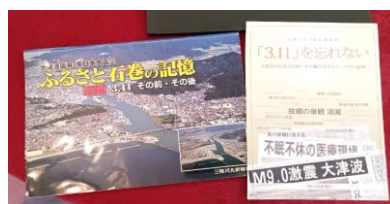
災害に関する支援で有名なのは1923年9月の関東大震災にRI本部、シカゴ、ニューヨーク、サンフランシスコ、世界各国のRCから支援金が届けられたことです。1970年当時の貨幣価値で約3億円とのことですので現在ではその倍位ではないでしょうか。

この資金により、東京RCが孤児院にロータリーの家を作ったり消失小学校188校に備品を贈呈したりしています、これを契機にクラブ活性化しが進展したそうです。



このように奉仕の実践によってはじめてロータリアンの実感を味わうということです。我がクラブにあっても女川の保育園に皆で訪問し園児からかわいいネックレスを頂いた時は目頭の熱くなったのを思い出します。

翌日は桜谷さんのご案内で復興なった女川の町を見学させていただきました。住居・庁舎・学校等はすべて高台に移り、町は道路整備され事業所等しか建設できません。駅前道路には海が見えるテラス商業棟ができていました。そのあと、石巻南浜津波復興記念公園に行き宮城東日本大震災津波伝承館を訪問し改めて震災の教訓を学びました。もっと色々お話ししたいことはありますがざっくり石巻南RC30周年記念式典・祝賀会の訪問をご報告いたします。





●)) 先週の卓話 ((●



「朝日電器の経営 半世紀を振り返り」

寺田 晟二 会員



ゼロからの船出

大阪・千里が丘陵に世界中から6,421万人が集い、未来社会の夢を追った「日本万国博覧会」(大阪万博)。その開幕9日前の1970(昭和45)年3月6日、朝日電器株式会社の前身、「朝日電器商事株式会社」は、大阪府大東市御供田に設立された。資本金は100万円。業態は電器店向けの電気部品などの卸売業。最初の社屋は、駐車場の一角に5台分のスペースを借りて建てた。板張り、トタン屋根の質素な事務所で、スタッフは社長や役員を含めて21人。第1期(～1970年12月末)は、売上高こそ1億2,720万円だったが、経常利益は、わずかに160万円ほどで、ほとんどゼロからの選出だった。

収益源は小分けのパーツ

収益を支えたのは、少量ずつセロハンの袋に分け、ホッチキスでボール紙の台紙に貼り付けた電気部品や配線部品などの電気パーツだった。創業者の寺田克治が、子供向けの菓子の包装から思いついたアイデアで、1962年、兵庫県尼崎市に当社のルーツとなる個人商店を興し、軌道に乗せた手法を基に発展させた。これが取引先の電器店に好評だった。そのころ、松下電器産業(現パナソニック)をはじめ、大手電機メーカーは地域の密着型の特約店を全国に展開。「街の電器屋さん」と親しまれた。

当時、停電時のヒューズ交換や電気製品の断線など、簡単な修理は自分たちでやる家庭が多かった。電器店は箱入りで電気部品を仕入れ、客にヒューズや接合材の「ハンダ」などを求められると、箱から取り出して売っていた。ところが、1959年4月の「皇太子殿下(現・上皇陛下)ご成婚」、1964年10月の東京オリンピックといった関心の高いイベントが相次ぎ、テレビの需要が急増。折からの高度経済成長で、洗濯機や冷蔵庫など大型の「白物家電」も急増に普及し、店主は、機器の据え付けに、修理に、と外回りで不在になりがちだった。

パーツ類の小売価格や在庫量は、すべて店主の頭の中にあり、留守番の家族には、価格も保管場所もわからず、せっかく客が来ても商売にならなかった。しかし、当社の商品は小袋に入れて台紙に貼り付け、台紙ごとに品名、価格を表示しているので、在庫量もひと目で分かった。売り上げは地方を中心に順調に伸び、当社は全国各地に代理店を設け、販路を広げていった。

代理店制度の“壁”

代理店制度は、創業者の克治が確立した。会社設立から間もないころ、広島商工会議所の一室を借りて説明会を開いたのを手始めに、各地で募集し、ほどなく全国



に代理店を置いた。各地の店主からの電話を本社で受けて商品を発送する方式で、担当者数がわずか3人という時期もあったが、効率的に業績を上げることができた。

克治が店主の休業補償まで設けて手厚く対応し、当社の初期の成長を支えた代理店制度だったが、1975年4月、量販店の新しい業態、ホームセンター(以下、HC)との取引が始まると、それが“壁”となって当社の前に立ちふさがった。

第二の創業

1980(昭和55)年9月2日、体調を崩していた初代社長の寺田克治は会長に就き、次男の晟二(現・取締役会長)が代表取締役社長に就任した。翌年1月、克治は他界。経営の先頭に立った晟二は「100億円の会社」をめざす。売上高は、第10期(1979年1月～12月末)に20億円を超えたばかりだったが、これが当社の当面の目標となる。このころ、晟二が出会ったのが、衆知を集めて経営に臨むという、松下電器産業の創業者、松下幸之助の「衆知経営」。その経営哲学に共鳴し、当社の方針を「社員の意見に耳を傾け、みんなでやっていく」と定め、以降、様々の経営基盤の整備や改革に取り組んでいく。「第二の創業」ともいえる変革の始まりだった。

総合スーパー(以下、GMS)との取引で物流のノウハウを蓄積していた当社にとって、日用品から工具類、建築資材、電気パーツ類と多様な商品を取り扱うHCは魅力的な業態だった。HC側も多品種、小ロットに対応できる当社が適していたようで、扱える商品をすべて納入するよう要望されることもあった。

HCが発展途上にあるうちは、代理店でも対応できた。しかし、店舗数が急増することにより、代理店では十分な物流体制を整えることができず、代理店の手に余るようになった。さらに、代理店同士のテリトリー争いも顕在化して、HC市場ではみすみす競合他社に商機を奪われる事態をも起きていた。

夜を徹しての「有馬会談」

1990年4月、当社は、全国の代理店店主を有馬温泉(神戸市北区)の有馬グランドホテルに招き、代理店制度の見直しを交渉する場を設けた。社長の晟二が「代理店は尊重するが、ホームセンターは本社の管轄とさせてほしい」と切り出すと、店主側は既得権を主張し、一斉に猛反発。契約から専売条件を外し、他商品の販売も認めると持ち掛けても、賛同は得られず、激高のあまり帰宅してしまった店主もいた。ひざ詰め「有馬会談」は深夜に及んだが、晟二は粘り強く説得を続け、夜が明けるころ、ようやく了承を取り付ける。だが会談の直後に契約解除を申し出た店主もいた。こうして、当社はHCとの直接の取引体制を築くことができた。この直販ルートは、その後の当社を支える大きな収入源となった。

事業経営について大切な事

- 1、経営理念(人を大切にする内容が含まれているか)
- 2、従業員の個性を活かせる体制
- 3、中長期の計画

～～～想えば成る～～～